

小笠原現市長3選

投票率史上最低の52.21%



職員の出迎えに高々と手を上げる小笠原市長

任期満了に伴う市長選挙は十月三十日投票、午後八時から四階大会議室で即日開票が行われ、保守系無所属で現職の小笠原喜郎氏(72)が、革新系無所属の今井泰男氏(61)に五千票余りの差をつけて当選しました。

市民の関心今一歩

先の市議会議員選挙(十月十六日)に続いて行われた「四年間の市政を託す市長選挙」は、現職で三選を目指す小笠原喜郎氏(72)「保守系無所属」と今井泰男氏(61)「革新系無所属」の二人が立候補、保守と革新の一騎打ちとなりました。

投票は午前七時から市内四十五の投票所で一斉に行われましたが、

当 小笠原喜郎 二一、三六五票
今井 泰男 六、二一六票

財政・空港・同和・し尿処理・教育など多くの問題が山積する市政に対して市民の関心は低く、市議選に続いて低い投票率となり、史上最低の五二・二一％を記録しました。

投票率をみると、最高は第三十四投票所(成合、天行寺)の八五・三二％。次いで第三十七投票所(奈路)の七四・五六％、第三十

小笠原市長3期目の抱負語る

選挙戦から一夜明けた十月三十一日、三選を果たした小笠原市長は早くも登庁し、市長の仕事再開しました。

午前九時ちょうどに登庁した市長は、玄関前で吉本助役ら職員約五十人の出迎えを受けました。女子職員から花束を受けると、両手を高々と上げ、三期目の市政を担当する意欲をのぞかせながら、四階の市長室に到着しました。

このあと、市長はさっそく庁内放送で職員に対して「再びみなさんと仕事することになった。年

投票所(稲田)の六九・五〇％となっていました。また、最低は第四

十一投票所(小瀬、定林寺、龍本、浦原)の三七・三三％。次いで第二十六投票所(野中五、七区)の三七・五四％、第二十五投票所(野中一、四区、中央団地)の四一・三二％となっています。

開票は午後八時から市役所四階大会議室で行われ、午後九時過ぎには早々と当選を決め、最終的には今井氏に五千四百九十九票の大差をつけ三選を果たしました。

市民は八十年代の中盤を小笠原市政に託した結果となりましたが、



度途中だが新しい気持ちで取組む

先の市議選、今回の市長選挙とも史上最低の投票率に終わったことは「市民の行政離れ」とも取れるわけだ。「市執行部、市議会、市職員が力を合わせて、行政の信頼回復を望みたい」というのが一般の声のようです。

開票結果

当日有権者数三万四千四百九十九人。投票総数一万七千七百七十八票、有効投票一万七千五百八十一票、無効票九百九十七票。投票率五二・二一％。

ので、三期目の仕事をみなさんにも理解してほしい」と訓辞しました。

また、市長は報道陣に対しても「南国市は条件に恵まれた地力のある土地柄だから、市民のニーズにこたえるため、今後も前向きな姿勢で取組んで行く」と抱負を語っていました。

記者団の質問に抱負を語る

小笠原市長

(市長室で)